

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
海外研修 I Overseas Studies I		1年	集中（前期）	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(旅行実務ユニット ホテル・ブライダルユニット グローバル・ツーリズムユニット)	特に無し
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ホテル業概論 ブライダル概論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ホテル業概論				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
斎藤 清	2階	火曜日・水曜日・木曜日		授業中に指示します
授業の概要				
海外旅行の心得を学び、研修先の社会生活およびサービス産業に関する学習を重ねる。ハワイは観光産業が盛んな場所なので、観光・ホテル・ブライダル業など現地の仕事やその役割を実践的に学ぶ。				
授業の目標				
①ハワイでの観光産業の現状を把握し、日本の観光産業に役立つことを考えることができるようにする。 ②観光産業に関わる旅行業・ホテル・ブライダルの仕事の流れを学習し、現場に出た時に活かせることができるようにする。 ③グローバルな感覚を身に付け、観光産業の現場で実践的に活用することができるようにする。				
授業の方法				
事前指導の中で英会話や国際的なマナー、出入国に関する法令などを確認し、現地で滞在中観光産業の現場を研修する。				
学習の成果（学習成果）				
①ハワイでの観光産業の現状を把握し、日本の観光産業に役立つことを考えることができる。 ②観光産業に関わる旅行業・ホテル・ブライダルの仕事の流れを学習し、現場に出た時に活かせることができる。 ③グローバルな感覚を身に付け、観光産業の現場で実践的に活用することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（研修概要・渡航手続き・研修先での諸注意）			
第2回目	目的地の環境・歴史・文化・経済等の概略			
第3回目	渡航手続き トラベル英会話			
第4回目	異文化の違いについて			
第5回目	渡航手続き トラベル英会話			
第6回目	渡航手続き 国際マナー			

第7回目	出国までの流れ
第8回目	到着後～1日目の活動
第9回目	2日目（ブライダル研修の流れ）
第10回目	3日目（ホテル研修の流れ）
第11回目	4日目（個人研修について）
第12回目	出発～帰国までの流れ
第13回目	ハワイのホテルについて
第14回目	ハワイの観光の現状について
第15回目	反省会 研修レポートの発表

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	事前指導を休まず、渡航手続きや出入国に関することを積極的に学ぶ。S評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。
レポート	30%	現地で学んだハワイにしかない観光産業の現状をきちんとレポートに書くこと。S評価の基準：課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。S=90-100
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他	50%	ハワイにいる間、団体及びグループ行動の態度が良く、なんでも吸収しようという積極的な態度を示す努力をすること。S評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。

教科書と参考図書

プリントで対応

履修上の留意点・ルール

事前指導の曜日、時間は参加者が決まってから決定する。
